

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年7月5日 No. 54
発行担当 尼崎医療生協・山口
みやぎ県南医療生協 槻木事務所
連絡先: 090-6056-8275

「津波につかまらないよう、必死で逃げました。」



4日、今なお、避難所で暮らしておられる被災者の方を訪問し、今後の生活再建や被災時の模様などについて、お聞きしました。

ある避難所で、「お盆以降仮設住宅に入居予定」といわれるこの方は、坂元駅近くに住んでおられました。地震の直後、津波の様子を見てみようかと、車で少し高台に上がると、信じられない光景を目にし、それから必死になって山のほうに逃げたと、その当時の恐怖の状況をお話してくださいました。

今週末に支援に入るお宅の調査すすめています。応援の大工さんの人数によって支援先が変更になる可能性があります。

山下駅近くのIさん宅です。先週末にも支援に入りましたが、途中です。この日（3日）は、日曜日を利用して、息子さんや親戚のかたも一緒になって、瓦礫出しに余念がありませんでした。



坂元駅近くのSさん宅です。「補修工事をするにあたって、早く片づけをしたい」ものの、家の中も外も、瓦礫やゴミが散らかっています。



お疲れさまでした



市川さん

センター常駐スタッフが交替しました

7月4日、6月26日より、8日間常駐されていたヘルスコープ大阪の市川さんが帰阪されました。「まだまだ多くのことをやり残しているようで、もう少ししたい気分なのだが」とおっしゃりつつ、事務所をあとにされました。

後任は2日から（8日）広島医療生協の内田さん、3日から（6日）尼崎医療生協の山口が着任しています。